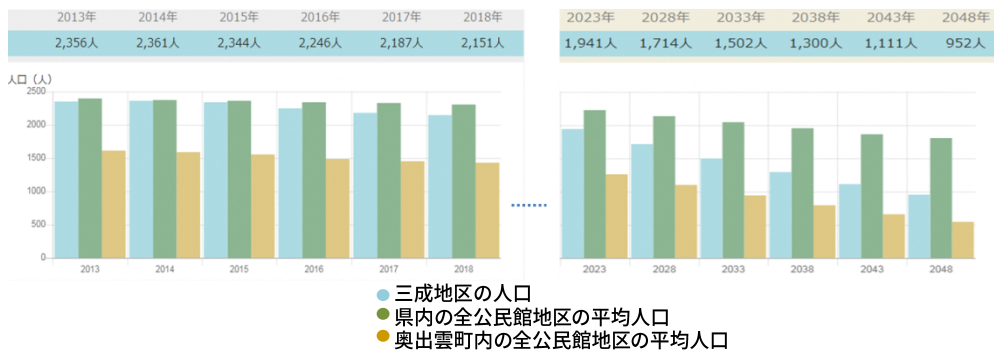




## ①三成地区の現状 —人口・拠点施設



人口:2,151人(2018年住民基本台帳)、高齢化率:36.91%(同左)  
 商店:ショッピングセンター サンクス、子育て:三成幼稚園、三成小、三成中  
 公共施設など:町役場仁多庁舎、中央公民館、仁多郵便局、町立奥出雲病院  
 山陰合同銀行三成支店(但し全てが連担地と呼ばれる役場周辺集落に集中)

## —担い手組織……三成郷づくりの会

☆ 自治会長等60人余で2018年7月発足。住民で知恵を出し合い住民が互いに連携した活動に取り組むことで、元気で生き生きと安心して暮らせる住み続けたい郷づくりの構築を目的に活動している。

☆ 会独自でワークショップを4回開催し、特に検討の必要性の高い課題を洗い出した結果、課題を次の7つに絞り、課題ごとにアンケート項目を設定し、地区内全世帯にアンケート調査を行った。(①交通、②買い物、③空き家、④介護、⑤子ども子育て、⑥イベント、⑦農地・山林)

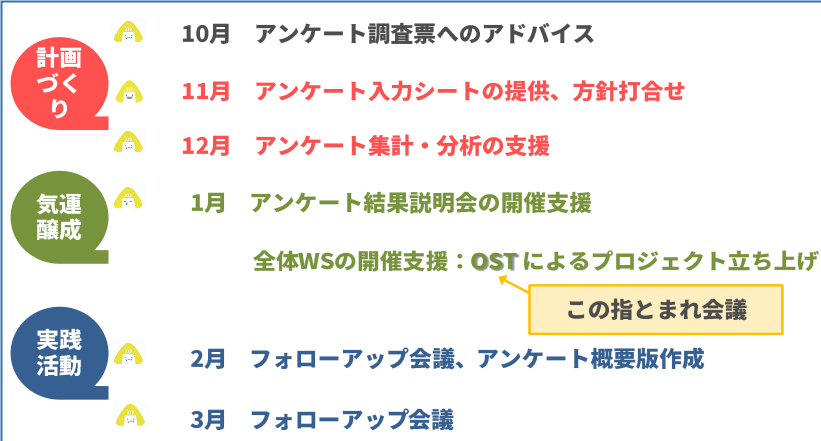
☆ ワークショップ5回～8回は(株)エブリプランの支援によりアンケートの読み込みとプロジェクトの立ち上げを行った。

## ②三成地区の支援開始時点の課題

- アンケート集計結果の見方が分からない。アンケート集計結果を基にした協議方法が分からない。
- アンケート分析結果を実践活動につなげる方法が分からない。

## ③支援内容

- (1) アンケート結果の効果的な整理(集計・グラフ作成)
- (2) アンケートを読み解く視点の提示
- (3) OSTによるプロジェクト立ち上げ・フォローアップ



## ④支援成果

- 4つのプロジェクトの立ち上げ
  - ・「てごし隊」: 高齢者などの移動手段の確保
  - ・「イベント」: 農地を使ったイベント(作付、肥料、水やり、収穫)
  - ・空き家見える化: 空き家のマッピング→撤去と活用
  - ・「世代間交流プロジェクト」: 高齢者と子どもの交流
- プロジェクト毎にリーダーと サブリーダーを選出
- 背景、目的、内容、方法、スケジュール、予算についてワーキングシートで整理

## 【一例】 空き家対策プロジェクトのワーキングシート

### なぜ取り組むのか? (背景)

- どういう空き家があるか現状把握をする  
→ 地域を守る、借家需要がある  
→ 若者を呼び込む
- ゴールは  
→ 空き家バンク 連絡がつく状態

### 誰のために? (ターゲット) 何のために? (目的)

- 住みよい三成
- 地区の皆さんの安心・安全

### 何をやるのか?

- 常会単位で調査する
- 地図で色分け
- 警察の協力によって安心の担保  
→ カルテの作成

### 誰と? (メンバー) どうやって?

- コアメンバー中心
- 常会の方
- 警察

プロジェクト名	空き家見える化											
期待する変化	達成すると「三成の〇〇」はどうなる? ・不要な空き家は撤去 ・有用な空き家は活用						達成すると「周り」はどうなる? ・空き家調査が進む ・空き家バンク登録数が増える					
予算	…図書費(ゼンリン地図)20千円、印刷費30千円、消耗品費(紙、ボード、マーカーなど)100円、報償費50千円											
To Do	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
準備	場所選定 調査程度 調査方法	資料作成 通知広報					資料修正					資料修正
試行			1つの自治会で調査					他2~3自治会で調査				
検討				検証					検証			
資料作成						空き家把握のメリット 4月作成資料の精査	提供 ヒアリング				7月修正資料の精査	

## ⑤残る課題

- (1) 4つのプロジェクトを軌道に乗せる …スケジュール表を意識してプロジェクトを推進し、遅れた場合の対処方法を考えておく。
- (2) リーダーらのさらなる育成 …リーダーらがプロジェクト内の効率的な意思疎通を促し、効果的な資料を作成して情報共有を行う。
- (3) プロジェクト間の連携促進 …プロジェクト毎に企画運営しつつ、各プロジェクトが分断せず連携できる仕組みを構築する。

## 【総括】 ◆プロジェクトチームのリーダー・サブリーダーが地区内の総意を得ながら、かつ楽しみながら活動する。

- ◆ プロジェクトチーム内の役割分担を明確にし、プロジェクトチームのメンバーが自律的に活動する。
- ◆ 会事務局が、地区内に会の活動やプロジェクトの内容について周知する。
- ◆ 各プロジェクトチームが、地区内の既存の活動・既存の組織等と協働する。